

それでも人は、
生きていく

恋人たち

『ぐるりのこと。』『ハッシュュー！』
橋口亮輔監督最新作

今を生きるすべての人に贈る絶望と再生の物語

篠原篤 成嶋瞳子 池田良
安藤玉恵 黒田大輔 山中崇 内田慈 山中聡
リリー・フランキー 木野花 光石研

原作・脚本・監督：橋口亮輔
製作：井田寛 上野廣幸 企画・プロデューサー：深田誠剛
プロデューサー：小野仁史 平田陽亮 相川智
ラインプロデューサー：橋立聖史 撮影：上野彰吾
照明：赤津淳一 録音：小川武 美術：安宅紀史
音楽：明星 / Akeboshi 主題歌：Usual life Special Ver. / 明星 / Akeboshi
助成：文部科学省文化芸術振興費補助金 制作プロダクション：ランプ
宣伝：シャントラバ / ビターズ・エンド
配給：松竹ロードキャスト / アーク・フィルムズ
製作：松竹ロードキャスト
©松竹ロードキャスト / アーク・フィルムズ
日本 / 2015 / ビスタ / 140分 / 5.1ch
koibitotachi.com

PG-13 映画

不条理に満ちたこの世界を、 それでも慈しみ肯定する――。

理不尽なことがまかり通る世の中で、
不器用に生きる恋人たち。幸せを求めて
彷徨う彼らが見つけた、ささやかな希望の光。

通り魔殺人事件によって妻を失った男。

退屈な日常に突如現れた男に心が揺れ動く平凡な主婦。

同性愛者で、完璧主義のエリート弁護士。

不器用だがひたむきに日々を生きる3人の“恋人たち”が、もがき苦しみながらも、

人と人とのつながりとおして、ありふれた日常のかけがえのなさに気づいていく姿を、

『ぐるりのこと。』『ハッシュ!』で知られる稀代の才能・橋口亮輔が、

時折笑いをまじえながら繊細に丁寧に描きだす。どんなに絶望的な世界でもまるごと肯定し、

ささやかな希望を胸に再び歩き出す――。明日に未来を感じることにすら困難な今、

私たちすべての人に贈る、絶望と再生の人間ドラマの傑作が誕生した。

恋人たち



名作『ぐるりのこと。』以来7年ぶりの
橋口亮輔オリジナル長編監督最新作。
この“本物の映画”を観ずに2015年は語れない!

何があっても離れない夫婦の十年を描いて、数多くの賞を受賞した

名作『ぐるりのこと。』から7年。誰もが待ち望んだ橋口亮輔の最新作は、

現代社会に生きる人びとの心にたまった澱を、

彼ならではの繊細な演出で丁寧に掬いとり、

その底にあるかすかな希望を浮かび上がらせた、

類まれな人間ドラマとなった。

メインとなる3人の“恋人たち”に扮するのは、

監督自らがオーディションで選んだ、

篠原篤、成嶋瞳子、池田良、いずれも無名の新人俳優。

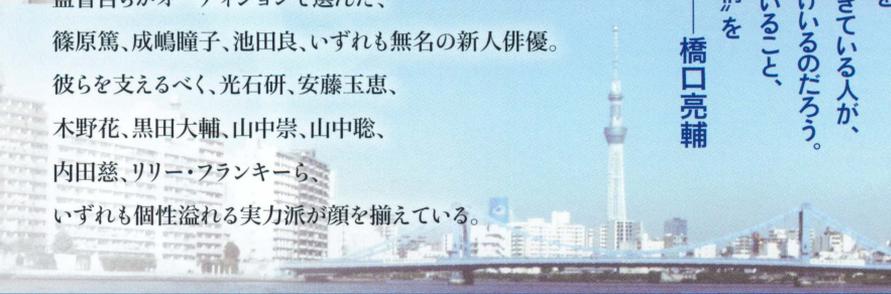
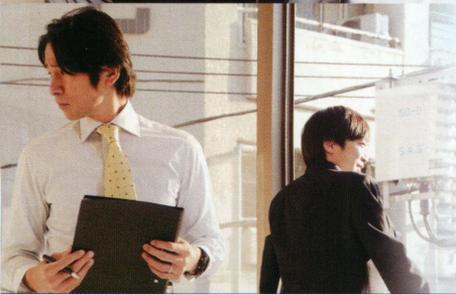
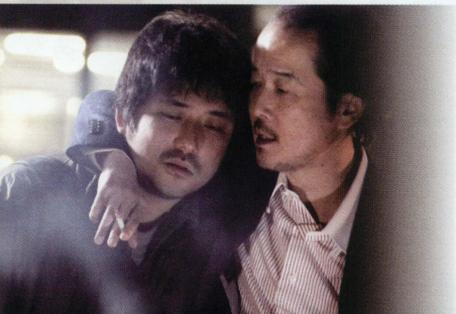
彼らを支えるべく、光石研、安藤玉恵、

木野花、黒田大輔、山中崇、山中聡、

内田慈、リリー・フランキーら、

いずれも個性溢れる実力派が顔を揃えている。

飲みこめない想いを
飲みこみながら生きている人が、
この日本にどれだけいるのだろうか。
今の日本が抱えていること、
そして“人間の感情”を
ちゃんと描きたい。――橋口亮輔



篠原篤 成嶋瞳子 池田良 / 安藤玉恵 黒田大輔 山中崇 内田慈 山中聡 / リリー・フランキー 木野花 光石研 原作・脚本・監督:橋口亮輔

製作:井田寛 上野廣幸 企画:プロデュースー:深田誠剛 プロデュースー:小野仁史 平田陽亮 相川寛 ラインプロデュースー:橋立聖史 撮影:上野彰吾 照明:赤津淳一 録音:小川武 美術:安宅紀史

装飾:山本直輝 衣裳:小里幸子 ヘアメイク:田嶋知佳 助監督:野尻克己 制作担当:伊達真人 音響効果:中村佳央 キャスティング:星久美子 アソシエイトプロデューサー:三好保洋 音楽:明星/Akeboshi

助成:金文化庁文化芸術振興費補助金 制作プロダクション:ランブ 宣伝:シャントラハ/ヒタース・エント 配給:松竹プロドキャスト/アークフィルムズ 制作:松竹プロドキャスト/アークフィルムズ ©松竹プロドキャスト/アークフィルムズ

PG12 映画
2015
koihitotachi.com